

これまでの機能はより便利に使いやすく、新機能も充実!!

データ連携機能

登録された名刺データは、企業にとって貴重な財産です。データ連携機能ではこれらのデータを有効活用することができます。※1

これまでのデータ連携機能に加え、PDF出力、サムネイル出力、名刺画像出力機能が新たに追加されました。

● テキスト出力

名刺データをCSV形式・タブ区切り形式で出力します。出力項目の並び順等の設定ができるので、年賀状ソフトなど様々なソフトとの連携が容易になります。

● vCard出力

名刺データをvCard3.0形式で出力します。スマートフォンや携帯電話のアドレス帳への登録、年賀状ソフト、メールソフトのアドレス帳など様々なソフトとの連携をすることができます。

● QRコード表示／QRコード一括表示

QRコード対応のカメラ付き携帯電話を利用して、携帯電話のアドレス帳に名刺データの情報を登録することができます。

● PDF出力

登録されている名刺画像をPDF形式で出力します。クラウドサービスを利用して、スマートフォン上から閲覧できるようになります。

● サムネイル出力

登録されている名刺画像を等間隔に自動整列し、印刷用のDocuWorks文書を作成します。用紙サイズは、A4／縦・横、A3／縦・横の指定ができます。

● 名刺画像出力

登録されている名刺DocuWorks文書を、BMPやJPEG、TIFF形式で保存することができます。



リンク機能

保存されたDocuWorks文書にはリンクアノテーション機能が付与されます。TantCard 2では『名刺一覧』画面からも利用できるようになりました。

● URL

登録されているURLをWebブラウザで表示します。

● メール送信

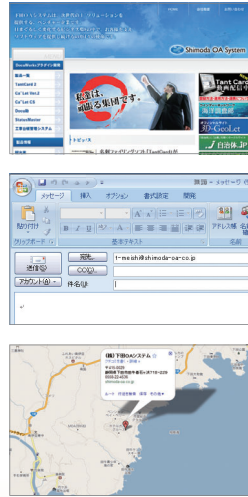
登録されているメールアドレスをメールソフトのアドレス欄 (TO) に転送して表示します。

● 地図

登録されている住所をGoogleマップで表示します。

● メール一括送信

登録されている複数のメールアドレスを一括でメールソフトのアドレス欄 (TO/CC/BCC) に転送して表示します。



スマートフォン対応

TantCard 2 ※2 で管理している名刺データをスマートフォンにインポートし、いつでもどこでも名刺データを閲覧・検索することができます。

「TantCard for iPhone」「TantCard for Android」アプリは無料でダウンロード!



動作環境・仕様

オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 10 日本語版 Microsoft® Windows® 8.1 日本語版 Microsoft® .NET Framework 4.5 日本語版 ※ 64bit版では32bit互換モード (WOW64) で動作します。 ※ Windows® 8.1/10デスクトップモードにて動作の確認を行っております。 Windows® RT (Microsoft Surface など) での利用は動作保証外です。 なお、タッチパネル操作には対応していません。
対象ハードウェア	上記オペレーティングシステムが正常に動作するハードウェア メモリ … 32bit版は1GB以上、64bit版は2GB以上 ディスク容量 … インストールに約1GB インストール時にCD-ROMドライブが必要
必須ソフトウェア	富士フイルムビジネスインベーション DocuWorks 8以上 日本語版
対応スキャナ	TWAIN規格ドライバが動作するスキャナ ScanSnapシリーズ (iX1600/iX1500/iX1400/iX500/iX100/S1500/S1500M/S1300i/S1300/S1100/S510/S300)

※1 名刺データを活用するためには、別途連携ソフトウェアやモバイル端末が必要となります。ソフトウェアやモバイル端末によっては対応していない物がございしますので、詳細は製品の仕様をご確認ください。
※2 「TantCard for iPhone」「TantCard for Android」は、TantCard 2.1以降に対応しております。Ver.2.0から最新版へは、弊社ホームページより無償アップデートを提供しております。



開発・販売元

株式会社下田OAシステム

リゾートオフィス風未来
〒415-0029 静岡県下田市碓石ヶ浜718-229
URL <http://www.shimoda-oa.co.jp/>

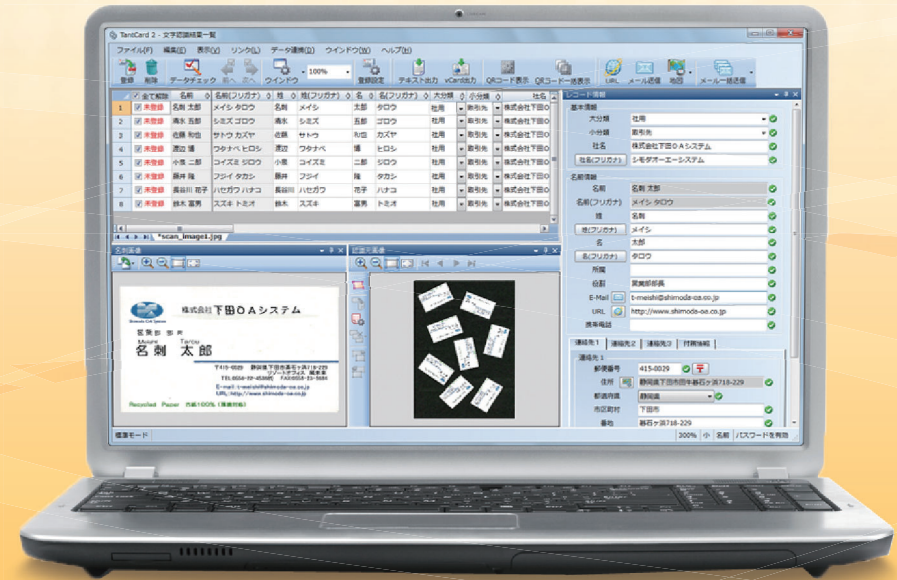
お問い合わせはこちらへ info_plugin01@shimoda-oa.co.jp

**DocuWorksユーザー必須の名刺管理ソフトが
さらに進化して新登場!**

「たんとカード」

名刺をファイリング たんとカード2

TantCard 2



DocuWorks
×
TantCardで
簡単名刺管理

TantCard (たんとカード) は、簡単な操作で名刺をDocuWorksに取り込むプラグインソフトウェアです。複合機から名刺画像を一括で取り込み、名刺情報を活用することで効率のよい名刺管理を実現。



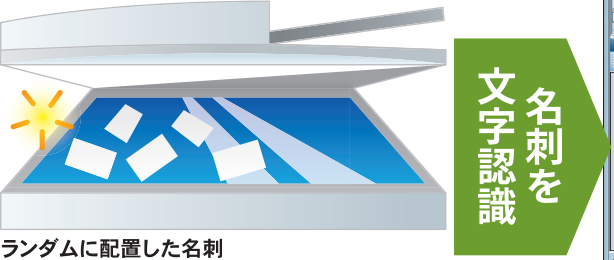
Shimoda OA System



名刺の登録方法は簡単ステップ！ ランダムに配置された名刺画像もおまかせ！

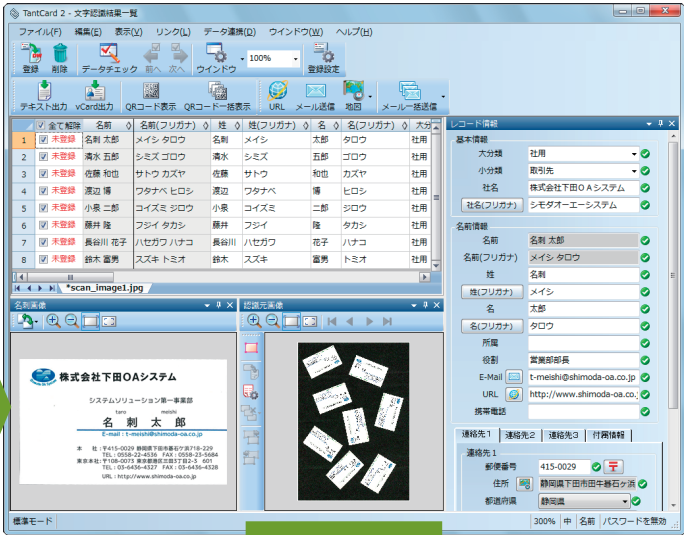
名刺画像取り込み・文字認識

複合機やその他スキャナから名刺画像を取り込み、DocuWorks文書に変換することができます。
名刺画像の文字認識（OCR）結果のリスト表示や、分割された名刺画像のプレビュー表示、文字認識結果リストの選択データを単票表示する事も可能です。



ランダムに配置した名刺

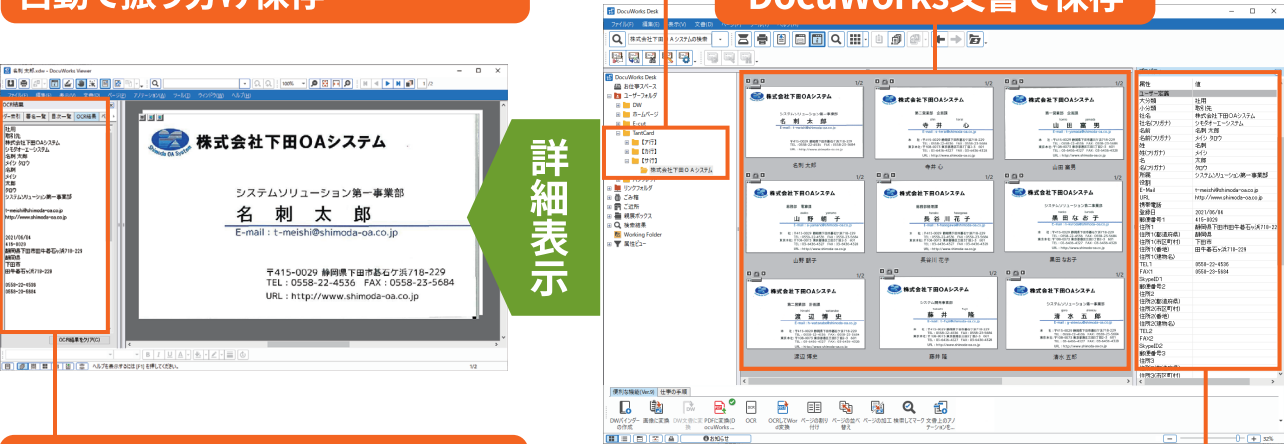
文字認識
名刺を



登録

会社毎のフォルダを作成して
自動で振り分け保存

読み取った名刺画像を
DocuWorks文書で保存



詳細表示

名刺情報を
DocuWorks文書属性に付与

ApeosCで両面对応

カラー複合機「ApeosC」(*)の自動両面原稿送り装置（B2-PC）オプションを使用することで、名刺の両面スキャンに対応しました。表面・裏面を同時にDocuWorks文書にすることが出来ます。



※ 富士フイルムビジネスインノベーション社製カラー複合機

ScanSnap対応

カラーイメージスキャナ「ScanSnap」(*)をご使用の場合は、初回に設定を行うことで、2回目からはScanSnapのボタンを押すだけで、自動的に「TantCard 2」(*)が起動し、文字認識が実行されます。よりスピーディーに作業効率もアップします！



※1 PFU社製カラーイメージスキャナ
※2 TantCard V2.5.1.0以降に対応

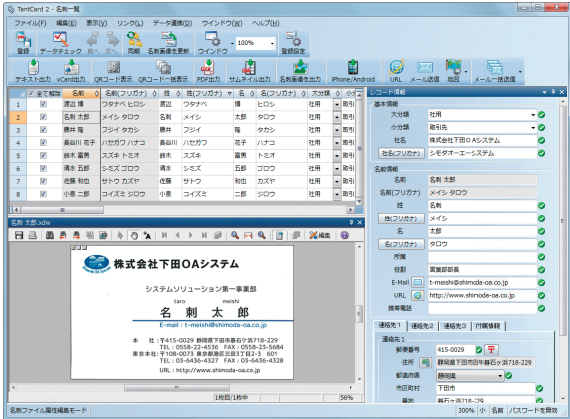
作成した名刺データを簡単検索

登録した名刺データの文字認識結果、ファイル名、日付など様々なデータが検索対象となるので、登録した名刺をすぐに見つけ出すことができ、効率的な管理が実現します。
検索結果は、『名刺一覧』画面で一覧表示されるので、検索結果をそのまま編集することも可能です。



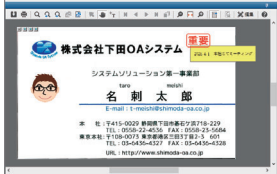
文字認識結果を後から簡単編集

登録した名刺データは『名刺一覧』画面で編集することができます。
編集したデータは、名刺DocuWorks文書のユーザー定義、OCR結果、リンクアノテーションボタンに反映されます。
また、部署異動などの理由により変更になった名刺の画像を差替えることも可能です。



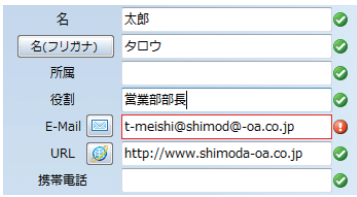
● アノテーション機能でオリジナル管理

DocuWorks Viewer コントロールを搭載したビューワーでは、名刺に付箋やアノテーションの貼り付けなどの操作を行うことも可能です。



● データチェック機能強化

これまでのデータチェック機能に加え、認識した名刺データが誤認識の可能性があるデータや必須項目が未入力の場合など❶で表示されるため、データ編集効率が大幅にアップします。
※ データチェックは、簡易的なチェックであり、精度は100%ではありません。



認識できなかった名刺も エリア指定して再認識

背景色が濃い名刺や帯状のデザインが入った名刺などを正しく切り出すことができなかった場合、認識できなかった名刺をエリア指定し、再認識させることができます。
マウスポインタで名刺の頂点をクリックしてエリアを指定、複数の名刺も選択可能です。



正しく切り出せなかった名刺画像

再認識結果と名刺画像

ネットワークで名刺の共有

ネットワーク上の共有フォルダ(*)に、名刺データを保存することができます。DocuWorksのリンクフォルダを利用して名刺データを共有することも可能です。
※ NAS・ファイルサーバーなど



複数のパソコンで名刺データを共有